

令和４年度全国学力・学習状況調査 三郷市の調査結果分析と今後の方策例

主な成果（○）と課題（▲） 全国差：全国平均正答率との差

小 学 校 国 語
全体の結果（正答数分布グラフ等からの分析）
○平均正答率は、69.0％である。 ○平均正答数は、9.7問/14問であり、全国を上回る。※全国9.2問/14問 ○市の平均正答率は、全国差＋3.4％である。
学習指導要領の内容、評価の観点、問題形式別結果
○学習指導要領の内容「知識及び技能」「（３）我が国の言語文化に関する事項」では、全国差＋7.9％である。 ○評価の観点「知識・技能」では、全国差＋4.3％である。 ○問題形式「記述式」では、全国差＋5.2％である。
問題別結果（正答率、無回答率からの分析）
○<u>3</u>－四「漢字の仮名の大きさ、配列に注意して書く」では、全国差＋7.9％である。 ○<u>3</u>－三－ア「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」では、全国差＋6.2％である。 ○<u>1</u>－四「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」では、全国差＋4.9％である。 ○<u>2</u>－二「人物像や物語の全体像を具体的に想像する」では、全国差＋6.2％である。 ○市の平均無回答率は1.9％であり、全国の平均無回答率5.7％を下回る。
今後の方策例（※ <u>2</u> －（２）を例に）
「登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」 令和４年度 全国学力・学習状況調査報告書（国立教育政策研究所）より
登場人物の相互関係について、描写を基に捉える ○ 登場人物の相互関係を捉えるためには、描写に着目しながら読み進めていくことが重要である。登場人物の相互関係は直接的に描写されている場合もあるが、暗示的に表現されている場合もある。このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら読むことが大切になる。 本設問では、「老人」は未来の「ぼく」であるかもしれないという二人の関係が分かる描写を捉える必要がある。森田さんは、推薦する文章で、「ぼく」と「老人」の相互関係が描かれていることを伝えようとしており、そのために、物語全体をもう一度読み、複数の描写に着目して相互関係を捉えようとしている。 学習指導に当たっては、物語の一部分だけを取り上げて登場人物の相互関係について考えるのではなく、物語全体を通して、相互関係について描かれている複数の描写に着目しながら読むことができるように指導することが効果的である。物語の全文が一枚の用紙に掲載されたシートを活用したり、登場人物の相互関係を物語の展開に合わせて人物相関図などに表したりすることなども考えられる。